

薬学部教育の質の保証に関する論点メモ

1. 薬学教育の全体像について

- ①厚生労働省の需給推計で示された、将来的に薬剤師が供給過多となる状況や、18歳人口そのものが減少期にあるといった課題を踏まえ、薬学教育の質を保証する上で薬学部が達成すべき水準についてどう考えるか。
- ②社会的ニーズに対応した薬学教育の在り方（薬剤師養成を目的とした6年制課程と薬学に関連した多様な分野に進む人材の養成を目的とした4年制課程の導入の効果の検証、6年制と4年制課程の果たすべき役割、個性や特色に応じた教育目的の明確化）についてどう考えるか。

2. 薬学部教育における質保証の枠組みとそれをめぐる課題

課題

薬学部においては、毎年入学定員を充足していない大学や、退学率や留年率が著しく高い大学、国家試験の合格率が著しく低い大学、国家試験対策に偏った授業を行う大学が存在するなど、薬学部教育の質保証が課題となっている。

上記課題に対する論点例

①質の確保に係る考え方の整理

- ・医療を取り巻く環境の変化及び国家試験と学部教育の関係などを踏まえ、薬学部教育において必要となる教育内容をどのように考えるべきか。
- ・教育の質を保証する場合の一定の水準は何を基準として判断するか。
(例 成績評価を行うための到達目標や修了認定基準などを、如何に設定すべきか)

②教育研究体制や方法の整理

- ・より質の高い薬学教育を実施するための教育内容・方法や実習施設等の在り方についてどう考えるか。
- ・教育研究指導に必要となる質の高い教員を確保するために、如何なる方策を講ずるべきか。(例 教員の業績等重点となる評価項目の検討)
- ・薬学教育全般の評価の在り方についてどう考えるか。

③学生の適切な受入れや修学支援に関する整理

- ・一部の薬学部において、定員割れしている大学がある中、適切な入学定員の在り方についてどう考えるか。また、質の高い入学者を確保するための改善方策についてどう考えるか。
- ・適正な成績評価や進級判定、修了認定を徹底した上で、受け入れた学生が標準修業年限内に大学を卒業できるようにするために、学生への適切な教育支援など、如何なる方策を講ずるべきか。